

工芸の部 入賞作品

※同賞は五十音順で掲載



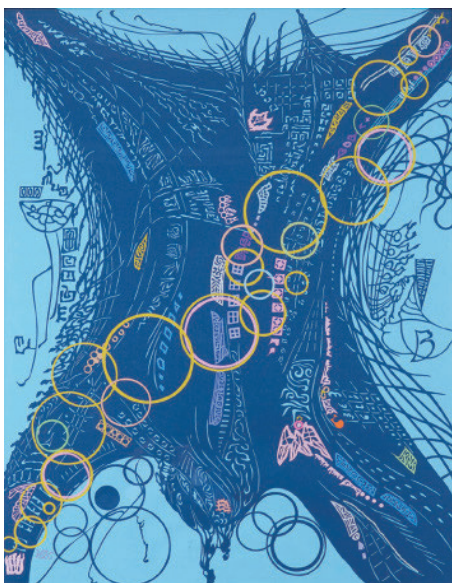
茨城県知事賞

「江戸小紋輪花花器」 福島 次男 取手市



茨城県知事賞

「雪舞う(つばき)」 渡辺 うた子 下妻市



茨城県議会議長賞

「響 き」 川原田 幹夫 阿見町



茨城県教育委員会教育長賞

「練込み象嵌「アヤメとバラの共演」」
吉澤 鬼子光 那珂市



茨城県保健福祉部福祉担当部長賞
「錦秋の詩」 鈴木 正雄 日立市



いばらき文化振興財団理事長賞
「灰釉流紋壺」 原田 正己 ひたちなか市



茨城県社会福祉協議会長賞
「初夏へのいざない」 山本 せい子 下妻市



茨城県社会福祉事業団理事長賞
「春近し」 黒川 和代 水戸市



茨城県老人クラブ連合会長賞
「さくら」 青木 照子 下妻市



佳作

「獅子頭(宇津)」
稲葉 久 土浦市



佳作

「想うがままに」
大内 文子 常陸大宮市



佳作

「チェコの思い出・プラハ カレル橋」
根本 潔 つくばみらい市



佳作

「秋 韻」
平野 悦子 ひたちなか市



佳作

「唐草文花器」
渡辺 和紘 土浦市



特別賞

「朧 月」
青木 明治 下妻市

総評

応募 126 点の多様な素材や表現の作品が出品されました。力作揃いの作品一点一点をじっくり拝見し、討論しながら賞候補 17 点を選び、受賞作 15 点を選出させて頂きました。

県知事賞の渡辺うた子さん作「雪舞う (つばき)」は、冬の凛とした空気感を纏いながらも、温かさを感じさせます。また、素材による質感や色感が心地良く、生き生きと表現された椿や舞い散る雪が、ゆったりとした時間を感じさせる美しい作品です。

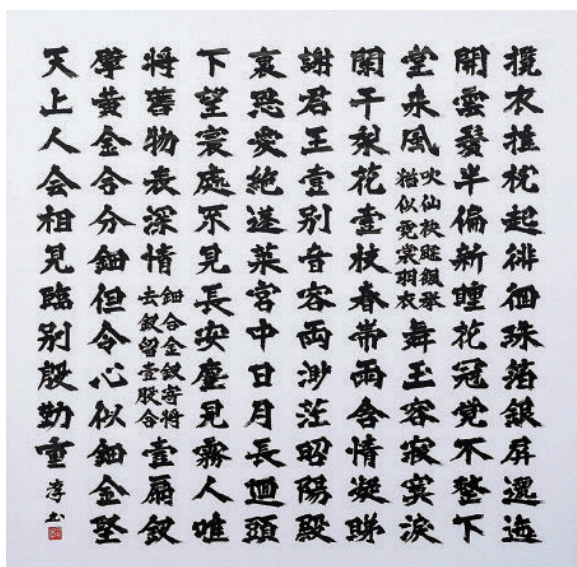
同賞の福島次男さん作「江戸小紋輪花花器」は、器のアウトラインの美しさ、内外に彩られた藍色と白色によるグラデーション、器面に理知的に構成された小紋が共鳴し、魅力的な立体造形作品になっています。

現代の工芸は多様で豊かな表現が展開されています。選択した素材の力を如何に引き出し構築していくかが大きな魅力の一つであり、面白い分野です。

今後も今展出品作のような魅力的で、思い、情熱が溢れる作品が出品されることを望みます。

書の部 入賞作品

※同賞は五十音順で掲載



茨城県知事賞

「勤 重」

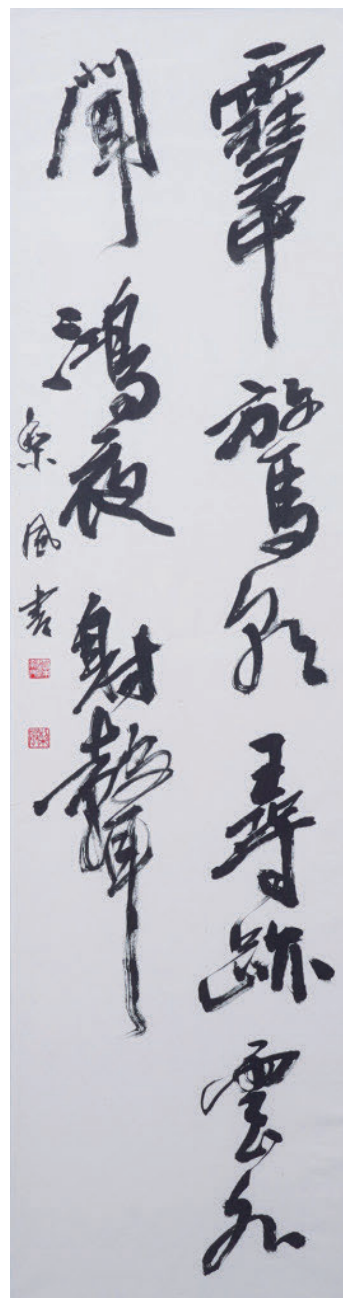
田中 淳 かすみがうら市



茨城県知事賞

「心なき」

堀田 松子 龍ヶ崎市



茨城県議会議長賞

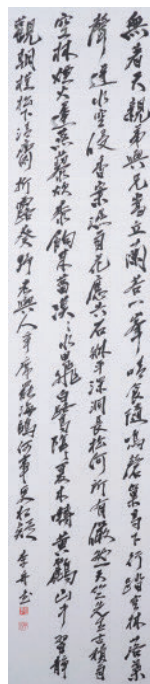
「除夜作 高適詩」

若本 梨風 下妻市



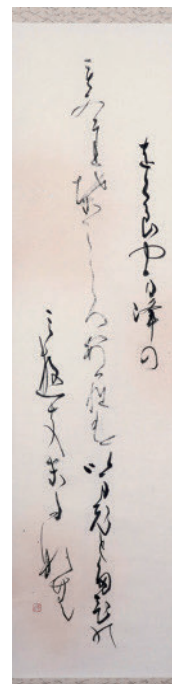
茨城県教育委員会教育長賞

「佳氣高堂に満つ」
根本 傑 高萩市



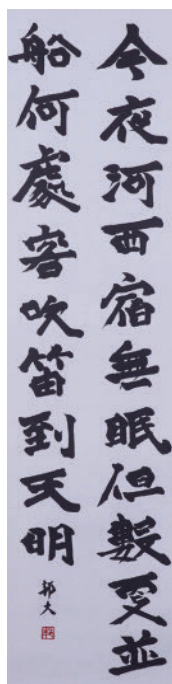
茨城県保健福祉部福祉担当部長賞

「王維詩」
金子 李舟 高萩市



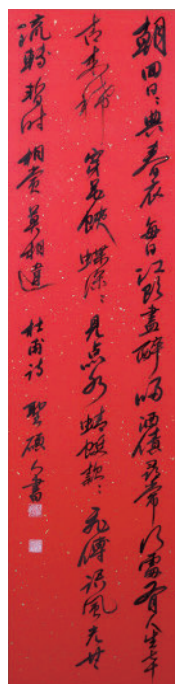
茨城県社会福祉事業団理事長賞

「百人一首」
平田 凌華 龍ヶ崎市



いばらき文化振興財団理事長賞

「徐霖(明)」
沼田 邦大 高萩市



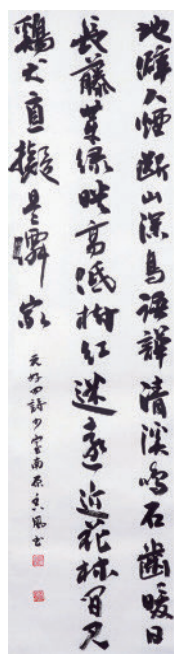
茨城県老人クラブ連合会長賞

「杜甫詩」
松下 聖碩 鹿嶋市



茨城県社会福祉協議会長賞

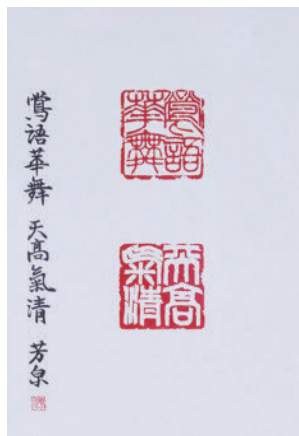
「遊魂」
深澤 寛 高萩市



佳作

「少室南原」

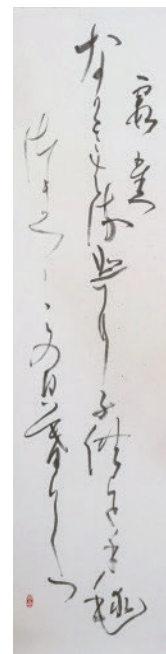
小島 香風 下妻市



佳作

「鶯語華舞 天高氣清」

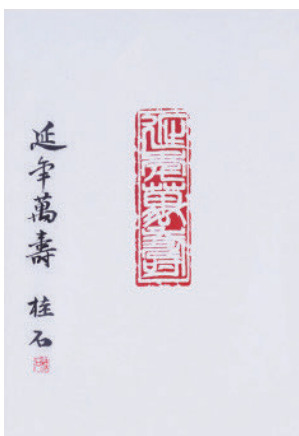
野上 幸子 那珂市



佳作

「霞たつ(良寛の句)」

藤沼 弓子 常総市



特別賞

「延年萬壽」

富永 桂石 水戸市

総評

前年より出品点数が8点増加、気迫のこもった75点の作品群を前に私達も出品者の熱意に応えなくてはと厳正に審査に臨みました。

まず県知事賞の堀田松子さんの作品は、筆の流れがリズムカルで、響き合う生きた線でまとめられた美しい仮名作品でした。

同じく県知事賞の田中淳さんの作品は、終筆までどっしりと書かれていて、全体に強さを感じました。

県議会議長賞の若本梨風さんは、力まず、表現が大きく、暢びやかな作品でした。

書は線が命ですが、ほかの受賞作品にも、厳しい線質の重厚な作品が多く見られました。

公民館の書道教室に通っている方が話されました。「筆にたっぷり墨を含ませて、真っ白な紙に最初の一画を書き出す時の何とも言えない緊張感がたまらなくて書道を続けている」と。これからも筆を持つ日常が何よりの楽しみであり、生きがいとなりますよう願っております。